

平成 30 年 9 月 3 日

眼科に通院中の患者さんへ(臨床研究に関する情報)

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。このような研究は、厚生労働省・文部科学省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定により、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

研究課題名 網膜中心静脈閉塞症(CRVO)の臨床所見と治療成績：多施設・後ろ向き・観察研究

研究責任者 三重大学 眼科 近藤 峰生

(共同研究機関と施設責任者)

愛知医科大学医学部附属病院	眼科	瓶井 資弘
東京医大八王子医療センター	眼科	志村 雅彦
滋賀医科大学医学部附属病院	眼科	大路 正人、西信 良嗣
兵庫医科大学医学部附属病院	眼科	五味 文
鹿児島大学医学部附属病院	眼科	坂本 泰二
徳島大学医学部附属病院	眼科	三田村 佳典
奈良県立医科大学医学部附属病院	眼科	緒方 奈保子
防衛医科大学医学部附属病院	眼科	竹内 大、高山 圭
名古屋市立大学医学部附属病院	眼科	安川 力、平野 佳男
筑波大学医学部附属病院	眼科	岡本 史樹
山口大学医学部附属病院	眼科	木村 和博
市立札幌病院眼科	眼科	木下 貴正
久留米大学医学部附属病院	眼科	吉田 茂生
信州大学医学部附属病院	眼科	村田 敏規
福井大学医学部附属病院	眼科	高村 佳弘
神戸大学医学部附属病院	眼科	楠原 仙太郎

研究の目的

網膜中心静脈閉塞症(CRVO)は網膜から心臓に向かう血管(静脈)が眼球の中心で詰まることによって、網膜に出血やむくみ(黄斑浮腫)、虚血(血液の供給が不足する状態)を生じて視力が低下する疾患です。従来からのレーザー治療に加えて近年ではステロイドのテノン嚢下注射、抗血管内皮増殖因子(VEGF)薬の硝子体注射、硝子体手術などの選択肢があり、これらの組み合わせ治療も行われています。現在、CRVOの治療の中心は抗VEGF薬硝子体注射ですが、その投与基準は確立されていません。そこで、CRVOに対する最適な治療法を考えるにあたり、まず日本における多施設の患者データを収集し、検査所見と

治療成績を詳細に解析することを目的として本研究を行います。これによって今後の治療法の選択に役立てることを目指します。

1 対象となる患者さん

平成 25 年 1 月 1 日から平成 30 年 8 月 31 日までに当科を受診した 20 歳以上の CRVO 患者で 1 年以上通院された方。

2 利用するカルテ情報

年齢、性別、視力、網膜の厚み、治療方法、治療回数、合併症の有無などを調査します。

個人情報の取り扱い

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

※上記の研究に診療情報を利用することをご了解いただけない場合は、ご連絡ください。

【お問い合わせ先】

北海道札幌市中央区北 11 条西 13 丁目
市立札幌病院眼科